



大河津分水 通水100周年
The Ohkoku Diversion Channel 100th Anniversary



関屋分水 通水50周年
The Setoya Diversion Channel 50th Anniversary

川でつながる 未来につなげる

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念事業

未来につながる事業 記録誌





大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念
未来につながる事業 記録誌

令和6(2024)年3月29日 発行

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所
〒940-0098 新潟県長岡市信濃1-5-30
TEL:0258-32-3020 E-mail:shinano@hrr.mlit.go.jp
HP:<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所
〒951-8153 新潟市中央区文京町14-13
TEL:025-266-7131 E-mail:shinage@hrr.mlit.go.jp
HP:<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/>



大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念
未来につながる事業 記録誌
川でつながる 未来につなげる



大河津分水 通水100周年
The Ohkoku Division Channel 100th Anniversary



関屋分水 通水50周年
The Sekiya Division Channel 50th Anniversary

1 周年事業

- 1-1.事業の趣旨・目的..... 1

2 主な事業

- 2-1.大河津分水ロゴマーク決定..... 3
 2-2.関屋分水シンボルマーク決定..... 5
 2-3.実行委員会設立..... 7
 2-4.スポット・愛称募集..... 11
 2-5.分水講演会..... 13
 2-6.OHKOUZU day..... 15
 2-7.せきぶん誕生祭..... 17
 2-8.大河津分水サクスフェスタ..... 19
 2-9.せきぶん感謝祭..... 21
 2-10.6館リレー展..... 23
 2-11.分水サミット..... 25
 2-12.記念シンポジウム..... 27

3 トピックス

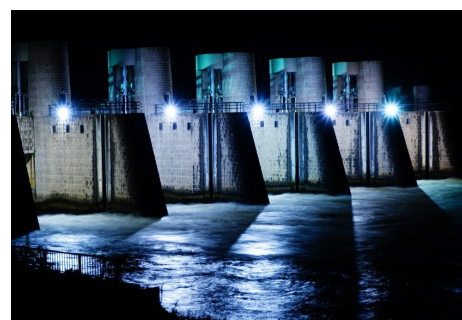
- 3-1.石碑磨き..... 29
 3-2.大河津資料館100万人達成..... 29
 3-3.合格通水石..... 30
 3-4.100周年カウントダウン..... 31
 3-5.50周年カウントダウン..... 33

4 未来へのメッセージ

- 4-1.川づくりアンケート..... 35
 4-2.メッセージプロジェクト..... 41

5 参考

- 5-1.写真コンテスト..... 49
 5-2.イベントリスト 大河津分水..... 52
 5-3.イベントリスト 関屋分水..... 55
 5-4.ロゴマークの使用例..... 56
 5-5.シンボルマークの使用例..... 58
 5-6.100周年HP..... 59
 5-7.50周年HP..... 60



01

事業の 趣旨・目的

令和4(2022)年に大河津分水は通水100周年、関屋分水は通水50周年を迎えました。越後平野の人々の暮らしを劇的に変えるターニングポイントとなった大河津分水、県都発展の原動力となった関屋分水、2つの分水は今もなお私たちの暮らしを支えています。2つの分水がそれぞれ100周年・50周年を迎えることを踏まえ、信濃川の豊かな恵みに感謝し、先人の偉業を讃えるとともに、大河津分水・関屋分水が地域の皆様により深く理解され未来につながることを願って『大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につながる事業』を行うこととしました。



大河津分水は、水害に悩む越後平野の人々にとって水害から逃れるための切札として熱望され、1700年頃から幾度となく請願が繰り返されます。人々の願いが結実し、明治40(1907)年に着工。15年の歳月と延べ1000万人の人手を費やし大正11(1922)年8月25日に通水しました。



大河津分水 通水100周年
The Ohkoku Diversion Channel 100th Anniversary



関屋分水は、地盤沈下による浸水が目立つようになった1960年頃から、信濃川による水害から守ること、新潟港の土砂堆積を抑制することを主目的とし、昭和39(1964)年に着工。昭和47(1972)年8月10日に通水しました。



関屋分水 通水50周年
The Sekiya Diversion Channel 50th Anniversary

大河津分水・関屋分水は水禍を乗り越えてきた先人達の想いが凝縮した場であり、大河津分水・関屋分水を知るとは郷土愛やシビックプライドの醸成に大きく貢献します。その実現のために信濃川流域の多くの人々が協力してきた経緯があり、新潟における流域連携の原点でもあります。かくして信濃川とその支川・派川は生活用水や農業用水・工業用水など計り知れない恩恵を与えてくれるばかりでなく、親水空間や地域活性化など新しい可能性を秘める場ともなっています。

このように大河津分水・関屋分水は、郷土を愛し相互に連携し未来の100年を考える上で、唯一無二の存在でありこの上ないテーマであることから、分水の歴史を知ること、信濃川流域の繋がりを創出すること、未来の川づくり・地域づくりを考えることを柱として記念事業を実施しました。

キャッチフレーズ

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念 未来につながる事業



大河津分水 通水100周年
The Ohkouzu Diversion Channel 100th Anniversary



関屋分水 通水50周年
The Sekiya Diversion Channel 50th Anniversary

川でつながる 未来につなげる

主な事業のフロー

